

2021年度常磐短期大学 履修系統図【司書課程】

学修成果（学修成果のために、●=特に強く求められる事項、◎=強く求められる事項、○=望ましい事項）

科目区分	科目番号	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	単位数・選択	学年	サブタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	1. 知識・技能		2. コミュニケーションスキル・情報リテラシー			3. 論理的思考力・問題解決力			4. 社会性・協調性
										幅広い知識を身につけることができる。	基礎的な専門職業能力を身につけることができる。	情報能力を身につけることができる。	異文化理解力を身につけることができる。	適切な自己表現ができる。	広く深い教養を身につけることができる。	専門的職業能力・専門知識を身につけることができる。	課題発見とその解決能力を形成できる。	実践力と責任意識をそなえることができる。
司書課程 関連科目	LC120	生涯学習概論	講義	2		1	生涯学習と社会教育について	生涯学習と社会教育全般について理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の2点。 (1) 現代社会における、生涯学習の重要性について理解する。 (2) 様々な生涯学習施設と職員について理解する。	(1) 生涯学習、生涯教育、社会教育などについて理解し、説明できる。 (2) 多様な生涯学習機関、社会教育機関について理解し、説明できる。 (3) 生涯学習者とはなにかについて理解し、必要な能力を説明できる。	◎	◎			○	○	○		
	LC121	図書館概論	講義	2		1	公共図書館の基礎知識	図書館全般について理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の2点。 (1) 図書館の機能や種類についての知識を習得する。 (2) 図書館職員の役割について理解する。	(1) 公共図書館を中心に図書館の基礎について理解し、説明できる。 (2) 図書館司書の主な仕事について理解し、説明できる。	◎	◎			○	○			
	LC160	図書館制度・経営論	講義	2		1	図書館に関わる法律と経営の知識	図書館の制度と経営方法について理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の2点。 (1) 法律を始めとする諸制度を通じて、図書館がいかにかに生まれたかを理解する。 (2) 図書館がどのように経営されているかについて理解する。	(1) 図書館法を始め、図書館に関する諸法令の概要を説明できる。 (2) 図書館経営と職員、資料、施設の関係を理解し、図書館の現状と課題を説明できる。		◎				◎			
	LC270	図書館情報技術論	講義	2		2	図書館システムの基礎	図書館におけるシステムを理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の点。 (1) 図書館業務に必要な情報技術について、その基本的な仕組みや概念、その特徴や課題を理解する。	(1) コンピュータを中心とする情報技術の仕組みを説明できる。 (2) 図書館がどのような情報技術をどのような目的で導入しているのかを説明できる。 (3) 情報技術に関わる社会問題を理解し、解決できる。	◎	◎	●			◎	○		
	LC220	図書館サービス概論	講義	2		1	図書館サービスの全体像	図書館で行われているサービスについて理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の2点。 (1) 多様な図書館サービスについて、どのようなサービスがあるのかを理解する。 (2) 図書館サービスを行う上での指針を理解する。	(1) 図書館サービスの考え方や構造について理解し、説明できる。 (2) 現在行われている多様な図書館サービスについて理解し、説明できる。 (3) 特に公共図書館でこれから重視されるサービスが何か理解し、説明できる。	○	◎				◎	○		
	LC271	情報サービス論	講義	2		2	図書館サービスの中の情報サービス	図書館で行われている情報サービスについて理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の2点。 (1) 図書館における情報サービスの全体像を理解する。 (2) 情報サービスに必要な情報源について理解する。	(1) レファレンスサービスを中心に情報サービスの基本的な用語や理論について理解し、説明できる。 (2) 参考図書やデータベース等の情報源について、どのようなツールが存在するのか説明できる。 (3) 発信型情報サービス等の新しいサービスについて理解し、説明できる。	○	◎	○			◎	◎		
	LC221	児童サービス論	講義	2		2	児童サービスの全体像	図書館で行われている児童サービスについて理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の2点。 (1) こどもの本について知り、子どもと本を結びつける技術を知る。 (2) ヤングアダルトサービスや地域社会との連携によるブックスタートなどの子どもの読書活動推進等について理解する。 (3) 子どもにとっての読書の意義を説明できる。	(1) 現場で応用できる力を身につけるため、児童サービスの理念やサービスの実践を説明できる。 (2) 乳幼児からヤングアダルトまでの子どもの発達と、社会に置かれている状況を学び、各種児童資料、子どもと本を結びつけることができる。 (3) 子どもにとっての読書の意義を説明できる。	○	◎				◎			
	LC370	情報サービス演習A	演習B	1		2	紙媒体を使ったレファレンス演習	図書館にあるレファレンスツールを利用できるようになるための学習プログラムで、そのねらいは以下の2点。 (1) レファレンスツールを活用できる。 (2) レファレンスプロセスを理解する。	(1) 様々なレファレンスツールについての知識を深め、それらを使った情報探索及び回答ができる。 (2) 様々な課題について自分で図書館を活用して解決できる。	○	◎	●			◎	●		
	LC371	情報サービス演習B	演習B	1		2	ネットワーク情報資源を使ったレファレンス演習	図書館で行う情報サービスについて、データベースを利用できるようになるための学習プログラムで、そのねらいは以下の点。 (1) 主要な検索ツールであるデータベースについて、操作手順も含めて目的によって適切に使い分け、活用できる。	(1) 希望する資料へ辿り着けず困っている利用者を手助けできる力を身につけ、資料もしくは情報検索のツールの存在や手順などを把握できる。 (2) 知りたい事柄について、データベース等を用いて自力で見つけることができる。	○	◎	●			◎	●		

科目区分	科目番号	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	単位数・選択	学年	サブタイトル/テーマ	授業科目の主題 (授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標 (到達目標)	Ⅰ 知識・技能		2. コミュニケーションスキル・情報リテラシー			Ⅲ 論理的思考力・問題解決力			4. 社会性・協調性	
										幅広い知識を身につけることができる。	基礎的な専門職業能力を身につけることができる。	情報能力を身につけることができる。	異文化理解力を身につけることができる。	適切な自己表現ができる。	広く深い教養を身につけることができる。	専門的職業能力・専門知識を身につけることができる。	課題発見とその解決能力を形成できる。	実践力と責任意識をそなえることができる。	
LC	222	図書館情報資源概論	講義	2	1	1	図書館にあるメディアとその扱い方	図書館情報資源を取り扱う基本を理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の2点。 (1) 図書館情報資源の種類を知り、それぞれの特徴を理解する。 (2) 情報資源の収集方法や保存方法について理解する。	(1) 多様な図書館情報資源について、種類や特質、歴史、生産流通などについて理解し、実際に扱うことができる。 (2) 図書館における、情報資源の評価方法や収集方法について理解し、説明できる。	○	◎						◎		
	223	情報資源組織論	講義	2	2	2	図書館を組織化する方法	図書館情報資源を組織化するための理論を理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の2点。 (1) 情報資源を組織化する方法を理解する。 (2) 特に分類・目録・件名について理解する。	(1) 情報資源を組織化する意義と理論について理解し、説明できる。 (2) メタデータの作成や書誌ユーティリティ、ネットワーク情報資源の組織化について理解し、説明できる。		◎						◎		
	320	情報資源組織演習A	演習B	1	2	2	図書館での分類の仕方	図書館情報資源を実際に組織化できるようになるための学習プログラムで、そのねらいは以下の2点。 (1) 『日本十進分類法』を用いて、分類記号を付与することができる。 (2) 『基本件名標目表』を用いて、件名標目を付与することができる。	(1) 図書館情報資源に対して、『日本十進分類法』を用いて適切な分類記号を付与できる。 (2) 図書館情報資源に対して、『基本件名標目表』を用いて適切な件名標目を付与できる。		●						●		
	321	情報資源組織演習B	演習B	1	2	2	図書館目録の書き方	図書館情報資源を実際に組織化できるようになるための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1) 『日本目録規則』を用いた書誌データ作成を行うことができる。 (2) メタデータの作成の基礎を理解することができる。	(1) 『日本目録規則』による書誌データ作成ができる。 (2) メタデータについて理解し、説明できる。		●	○						●	
	322	図書館情報資源特論	講義	1	2	2	特殊なメディアとその扱い方	図書館で扱う専門的な資料について、取り扱いを理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の3点。 (1) 専門資料の種類について理解する。 (2) それぞれの専門資料について、特性や選択・収集方法、組織化のプロセスについて理解する。 (3) 専門資料の流通経路について理解する。	(1) 専門資料の種類と特徴について理解し、説明できる。 (2) 各専門資料について、評価・収集プロセスを知り、説明できる。	○	◎						◎		
	224	図書・図書館史	講義	1	2	2	図書館の歴史を学ぶ	図書館の歴史について理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の3点。 (1) 図書館の歴史的発展について理解する。 (2) 図書の歴史や読書スタイルの変遷について理解する。 (3) 図書館の周辺に広がる出版や流通についてその歴史を理解する。	(1) 図書館の歴史について学んだことをもとに、今後の図書館がどのように変化していくか考察できる。 (2) 図書や読書など図書館と関わり深い事柄について学び、将来の発展に結びつけていくための知識や考え方を得ることができる。	●	◎				○		○		
	323	図書館実習	実習A	1	2	2	図書館での実地研修	実際の図書館での職場体験を通じて図書館について理解するための学習プログラムで、そのねらいは以下の2点。 (1) 授業だけでは得られない数多くのことを体感し、理解を深める。 (2) 事前事後学習等を通じて、体験したことを定着させる。	(1) 現場体験を通じて、司書として働くことについて説明できる。 (2) 図書館だけでなく社会で働くことの意味を説明できる。		○		◎	◎	○	●	●	●	

科目区分	科目番号	授業科目名	授業の方法	単位数・必修	単位数・選択	学年	①サブタイトル/テーマ	②授業の概要	③学修の到達目標	1. 知識・技能		2. コミュニケーションスキル・情報リテラシー		3. 論理的思考力・問題解決力			4. 社会性・協調性
										幅広い知識を身につけることができる。	基礎的な専門職業能力を身につけることができる。	情報能力を身につけることができる。	異文化理解力を身につけることができる。	適切な自己表現ができる。	広く深い教養を身につけることができる。	専門的職業能力・専門知識を身につけることができる。	課題発見とその解決能力を形成できる。
	LC 120	生涯学習概論	講義	2		1	生涯学習と社会教育について理解するための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)現代社会における、生涯学習の重要性について理解する。 (2)様々な生涯学習施設と職員について理解する。	(1)生涯学習、生涯教育、社会教育などについて知り、説明できる。 (2)多様な生涯学習機関、社会教育機関について理解し、説明できる。 (3)生涯学習者とはなにかについて知り、必要な能力を説明できる。	◎	◎			○	○	○		
	LC 121	図書館概論	講義	2		1	図書館全般について理解するための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)図書館の機能や種類についての知識を習得する。 (2)図書館職員の役割について理解する。	(1)公共図書館を中心に図書館の基礎について理解し、説明できる。 (2)図書館司書の主な仕事について知り、説明できる。					○	○	○		
	LC 122	図書館制度・経営論	講義	2		1	図書館の制度と経営方法について理解するための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)法律を始めとする諸制度を通じて、図書館がいかに生まれたかを理解する。 (2)図書館がどのように経営されているかについて理解する。	(1)図書館法を始め、図書館に関する諸法令の概要を説明できる。 (2)図書館経営と職員、資料、施設の関係を理解し、図書館の現状と課題を説明できる。		◎				◎			
	LC 220	図書館情報技術論	講義	2		2	図書館におけるシステムを理解するための学習プログラムで、その狙いは、図書館業務に必要な情報技術について、その基本的な仕組みや概念、その特徴や課題を理解する。	(1)コンピュータを中心とする情報技術の仕組みを説明できる。 (2)図書館がどのような情報技術をどのような目的で導入しているのかを説明できる。 (3)情報技術に関わる社会問題を理解し、解決できる。	◎	◎	●			◎	○		
	LC 221	図書館サービス概論	講義	2			図書館で行われているサービスについて理解するための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)多様な図書館サービスについて、どのようなサービスがあるのかを理解する。 (2)図書館サービスを行う上での指針を理解する。	(1)図書館サービスの考え方や構造について理解し、説明できる。 (2)現在行われている多様な図書館サービスについて知り、説明できる。 (3)特に公共図書館でこれから重視されるサービスについて知り、説明できる。	○	◎				◎			
	LC 222	情報サービス論	講義	2		2	図書館で行われている情報サービスについて理解するための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)図書館における情報サービスの全体像を理解する。 (2)情報サービスに必要な情報源について理解する。	(1)レファレンスサービスを中心に情報サービスの基本的な用語や理論について理解し、説明できる。 (2)参考図書やデータベース等の情報源について、どのようなツールが存在するのか説明できる。 (3)発信型情報サービス等の新しいサービスについて理解し、説明できる。	○	◎	○			◎	◎	◎	
	LC 320	児童サービス論	講義	2		2	図書館で行われている児童サービスについて理解するための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)こどもの本について知り、子どもと本を結びつける技術を知る。 (2)ヤングアダルトサービスや地域社会との連携によるブックスタートなどの子どもの読書活動推進等について理解する。	(1)現場で応用できる力を身につけるため、児童サービスの理念やサービスの実態を説明できる。 (2)乳幼児からヤングアダルトまでの子どもの発達と、在学中に置かれている状況を学び、各種児童資料、子どもと本を結びつけることができる。 (3)子どもにとっての読書の意義を説明できる。	○	◎				◎			
	LC 223	情報サービス演習A	演習B	1		2	図書館にあるレファレンスツールを利用できるようになるための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)レファレンスツールを活用できる。 (2)レファレンスプロセスを理解できる。	(1)様々なレファレンスツールについての知識を深め、それらを使った情報探索及び回答ができる。 (2)様々な課題について自分で図書館を活用して解決できる。		◎	●			◎	●		
	LC 321	情報サービス演習B	演習B	1		2	図書館で行う情報サービスについて、データベースを利用できるようになるための学習プログラムで、その狙いは以下の点。 (1)主要な検索ツールであるデータベースについて、操作手順も含めて目的によって適切に使い分け、活用できる。	(1)希望する資料へ辿り着けず困っている利用者を手助けできる力を身につけ、資料もしくは情報検索のツールの存在や手順などを把握できる。 (2)知りたい事柄について、データベース等を用いて自力で見つけることができる。		◎	●			◎	●		
	LC 224	図書館情報資源概論	講義	2		1	図書館情報資源を取り扱う基本を理解するための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)図書館情報資源の種類を知り、それぞれの特徴を理解できる。 (2)情報資源の収集方法や保存方法について理解できる。	(1)多様な図書館情報資源について、種類や特質、歴史、生産流通などについて理解し、実際に扱うことができる。 (2)図書館における、情報資源の評価方法や収集方法について知り、説明できる。		◎				◎			
	LC 225	情報資源組織論	講義	2		2	図書館情報資源を組織化するための理論を理解するための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)情報資源を組織化する方法を理解する。	(1)情報資源を組織化する意義と理論について理解し、説明できる。 (2)メタデータの作成や書誌データベース、ネットワーク情報資源の組織化について理解し、説明できる。		◎	◎			◎			
	LC 322	情報資源組織演習A	演習B	1		2	図書館情報資源を実際に組織化できるようになるための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)『日本目録規則』を用いた書誌データ作成を行うことができる。 (2)メタデータの作成の基礎を理解することができる。	(1)『日本目録規則』による書誌データ作成ができる。 (2)メタデータについて理解し、説明できる。		●	○			●			

LC 323	情報資源組織演習B	演習 B	1	2	図書館での分類の仕方 図書館情報資源を実際に組織化できるようになるための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)『日本十進分類法』を用いて、分類記号を付与することができる。 (2)『基本件名標目表』を用いて、件名標目を付与することができる。	(1)図書館情報資源に対して、『日本十進分類法』を用いて適切な分類記号を付与できる。 (2)図書館情報資源に対して、『基本件名標目表』を用いて適切な件名標目を付与できる。	●						●		
LC 226	図書館情報資源特論	講義	1	2	図書館で扱う専門的な資料について取り扱いを理解するための学習プログラムで、その狙いは以下の3点。 (1)専門資料の種類について理解する。 (2)それぞれの専門資料について、特性や選択・収集方法、組織化のプロセスについて理解する。 (3)専門資料の流通経路について理解する。	(1)専門資料の種類と特徴について理解し、説明できる。 (2)各専門資料について、評価・収集プロセスを知り、説明できる。	○						◎		
LC 227	図書・図書館史	講義	1	2	図書館の歴史について理解するための学習プログラムで、その狙いは以下の3点。 (1)図書館の歴史的発展について理解する。 (2)図書の歴史や読書スタイルの変遷について理解する。 (3)図書館の周辺に広がる出版や流通についてその歴史を理解する。	(1)図書館の歴史について学び、今後の図書館がどのように変化していくか考察できる。 (2)図書や読書など図書館と関わり深い事柄について学び、将来の発展に結びつけていくための知識や考え方を得ることができる。	●	◎				○			
LC 324	図書館実習	実習 A	1	2	実際の図書館での職場体験を通じて図書館について理解するための学習プログラムで、その狙いは以下の2点。 (1)授業だけでは得られない数多くのことを体感し、理解を深める。 (2)事前事後学習等を通じて、体験したことを定着させる。	(1)現場体験を通じて、司書として働くことについて説明できる。 (2)図書館だけでなく社会で働くということの意味を説明できる。	○		◎	◎	○	●	●	●	